

# 令和3年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

県立新庄南高等学校

目指す生徒像 清らかで、清潔感にあふれ、真心をもって人や物事に対し、自ら進んで新しい物事に取り組む生徒

重点目標	1 授業等の充実による確かな資質・能力の育成	達成度	A	達成できた
	2 幅広い志望に対応したキャリア教育の充実		B	ほぼ達成できた
	3 心身の健康と安心・安全教育の充実		C	あまり達成できなかった
	4 魅力・活力あふれ、地域社会に関わられた学校づくり		D	達成できなかった

A: 十分評価できる	[A=3.5以上]
B: まずまず評価できる	[B=3.0以上]
C: 一部見直しが必要である	[C=2.5以上]
D: 根本的な見直しが必要である	[D=2.5未満]

自己評価						学校関係者評価		
番号	評価項目	具体的方策	評価指標	達成状況	達成度	次年度への課題・改善策	評価	意見・要望等
1	学習指導	(1)「新南8C」育成を意識した活動および「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善と評価方法の研究(教務課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.2	B	今年度の研修等を踏まえた授業と評価を実践する。研修等も行いながらさらに授業改善と評価方法を研究する。	B	主体的・対話的な探究型の学習方法の工夫・深化を期待する。「新南8C」が、引き続き生徒の目標となるよう周知してほしい。
		(2)ICTを効果的に授業に取り入れる方法の研究と探究型学習の推進および、普通科・総合ビジネス科それぞれの特色ある学びを進展させる教育課程の編成と実施(教務課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.2	B	生徒用端末が1人1台配付されることから、ICT機器やGoogle Classroom等の活用をさらに推進する。先進的な取り組みや効果的な利用について情報共有する。	B	これからは、ICTやリモートでの活用が必要となる。今後も、特色あるICT活用を期待する。新聞を活用した地域学習を一層進め、深い思考力やメディアリテラシーの醸成に役立ててほしい。
2	進路指導	(1)自己理解を深め、自己の能力や適性の伸長に努める姿勢の育成(進路課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.2	B	総合的な探究の時間や校内外での体験活動後に、キャリアパスポート等を活用して自己理解を深めさせる。生徒一人ひとりに対応したきめ細やかな指導の継続。	B	探究活動を深め、地域課題の解決につながるよう、推進してほしい。自分自身の力を信じられる生徒を育ててほしい。地域で輝く生徒の育成を望む。
		(2)地域の産・官・学等、各方面との連携によるキャリア教育の展開(進路課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.1	B	コロナ禍での制約はあるものの、オンライン活動等も利用しながら他者から学ぶ機会を数多く設ける。	B	地域産業との連携とキャリア教育を強化し、地域の発展に役立つ生徒の育成を期待する。オンラインを活用し、様々な方々から学ぶ機会を設けてほしい。
3	生徒指導	(1)心身の健康・学校生活・交通安全・情報等に関する自己管理意識の育成と豊かな人間関係の構築、新型コロナウイルス感染症等に対する正しい理解と感染防止対策の励行(生徒保健課、各課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.5	A	コロナ対策については(黙食ポスターの掲示やCO2モニターによる換気レベルの共有など)コロナ対策の視覚化を図った。対策が日常化する中こまめに検証し対策を継続していく。	A	コロナ禍における学校の在り方について、今後も対応を工夫していただきたい。生徒の悩みや心配事があれば、日頃より話ができる環境を今後ともつくっていただきたい。
		(2)生徒保護者との相談活動の重視による問題への早期対応の徹底(生徒保健課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.4	B	クラス担任や部活動顧問を中心とし、保護者との連携を図った対応をしている。今後も、情報交換を密に行い、生徒理解に努めたい。	B	今後とも、生徒一人ひとりへの指導をきめ細かく行い、信頼関係をもとに、生徒をサポートしてほしい。
		(3)「いじめ防止基本方針」に基づいた取り組みの強化(生徒保健課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.4	B	全職員が基本方針に基づいて取り組んでいる。コロナ禍の影響や生活経験の不足などで様々なトラブルを抱える生徒もおり、相談などの支援を行っている。今後も継続したい。	B	SNSの発達、拡大などの状況の中、生徒の問題への早期対応が求められる。今後とも、学校で細やかなサポートをお願いしたい。
4	魅力・活力あふれ開かれた学校づくり及びキャンパス制	(1)家庭・地域との連携・協働による教育活動の推進と学校HPの活用による積極的な情報発信(総務課・教務課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.2	B	地域・家庭との協力体制の継続を図り、メールによる緊急連絡や学校HP等を活用することで学校の情報発信に努める。	B	Google Classroomの活用を今後も進めてほしい。学校HPで、一般市民を対象とした情報発信も進めてほしい。
		(2)生徒の主体性を生かした魅力ある学校づくりを推進し、キャンパス制による金山校との連携強化を図る(各課)	4段階自己評価の平均3.0以上	2.9	C	文化祭において親子川柳の取り組みを継続し、相互訪問はできなかったが、交流出来た。次年度以降も交流を継続したい。	C	コロナ禍によって難しい場面もあるが、今できることをしっかりと取り組んでほしい。
		(3)地域資源を活かした体験・交流活動と郷土愛を育む教育が推進されている。(各課)	4段階自己評価の平均3.0以上	2.9	C	コロナ禍で学校や生徒会での取り組みに制約があったが、地域サークルでの活動や高校生発案の「ゴミ拾いボランティア」などに積極的に取り組む姿が見られた。今後も地域との連携を進めたい。	B	コロナ禍での制約はあったが、地域活動において様々な活躍が見られた。今後とも地域活動を推進してほしい。

学校関係者評価基準 A:十分評価できる B:まずまず評価できる C:一部見直しが必要である D:根本的な見直しが必要である  
①評価指標(自己評価の平均3.0)及び評価基準(A=3.5以上、B=3.0以上、C=2.5以上、D=2.5未満)

学校関係者評価を踏まえた改善点等  
 ○本校の教育目的である「本校の歴史と伝統を踏まえながら、地域の未来に貢献できる生徒を育成する」ことの実現を目指し、「地域で学び、地域を愛し、地域で生きていく」人材を育てるための教育活動を推進していく。  
 ○基礎的・汎用的能力の育成を目指したキャリア教育を実践し、「新しい生活様式」のもと地域の各方面との連携を活かし、生徒の自己理解を深めていく。  
 ○「新南8C」の育成を学年、各教科等で連携して進めていく。また、生徒・職員の情報活用能力を高め、探究型の学びを推進する。  
 ○学校全体でカリキュラム・マネジメントに取り組み、PDCAサイクルによる業務の見直しを行う。また、働き方改革を推進し、教育活動の充実を図る。